

部会名	令和 2 年度 第 1 回 障がい当事者部会		
日 時	令和 2 年 8 月 6 日（木） 14：00～16：00		
場 所	板橋区役所 南館 2 階 人材育成センター		
参加者	委員 9 名、事務局 4 名		
会議の公開（傍聴）	公開（傍聴できる）	傍聴者数	1 名

○ 報告事項

（１）板橋区障がい者計画 2023 障がい福祉計画（第 6 期）・障がい児福祉計画（第 2 期）について

- ・事務局より報告を行った。

（主な意見、質問）

- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築は、かなり前から課題としてあがっていた。計画にもあげて取り組みを示してもらいたい。

→現在、区において協議の場の設置に向けて調整を図っている。第 6 期計画においては、協議の場等を活用して、地域包括ケアシステムの整備に向けた調整を図っていききたい。素案の段階では、事業含めて掲載させて頂きたいと考えている。

- ・近年、重症心身障がい児（者）など、障がい重複する方が多くなっているが、その中でも区分が異なり、サービスの利用が変わってくるため、区としてそれを細かく把握しないと計画への反映が難しくなるのではないかと。

また、新型コロナウイルス感染症の影響下において、グループホームにいる障がい者の方はグループホームでみていたが、人件費が足りなくなった。実態調査を行い、次に反映して頂きたい。

→障がい者数の推移と傾向について、重度の方々の方々の区分内の障がいの重さについて、どのような捉え方ができるかを研究させて頂き、今後の参考にさせて頂きたい。

新型コロナウイルス感染症において、様々な障がい福祉サービス事業所がかなり苦慮されたということは、区の方でも伺っている。

これまでも機会を捉えて都や国にお話し等させて頂いているが、なかなか動きがないということもあるので、今後素案に向けて、新型コロナウイルス感染症のような状況において、どのような対応ができるかをきちんと捉えて、計画を策定していく必要があると思っている。

現在、区の基本計画に基づく実施計画の改訂作業をしているところであり、その中で区の新型コロナウイルス感染症に関する根本的な考え方が示されるところであるので、そちらを踏まえて障がいの計画でも素案の中で実現をして参りたいと考えている。

（２）地域生活支援拠点等の整備について

- ・事務局より報告を行った。

（主な意見、質問）

- ・現在、聴覚障がいの高齢者で、自分一人で生活している方も増えており、そのような方が支援拠点等に入った場合、手話通訳の体制はどうなっているのか。

→現状、24 時間いつでも手話通訳者の対応ができるという状況にはないが、東京都では、新型コロナウイルスの関係で始めた遠隔手話通訳があり、区において検討を重ねている。緊急時を含め、いつでも相談できる対応を検討していく必要があると考えている。

- ・板橋キャンパス跡地活用プランについて、グループホームの部屋がいくつあるなどの詳細は出ているのか。

→グループホームの定員が14名、短期入所の定員が6名を予定している。ともに重症心身障がい者や医療的ケア児も一定数受け入れられる形になっている。それ以外に、児童発達支援事業所（定員15名）についても、重症心身障がい児の方の受け入れができる事業所となっている。以上の三つが必須事業となる。それ以外に事業者の提案で相談支援・障がい児相談支援事業所も選択事業として入る予定となっている。

- ・相談事業の中で、難病について相談に乗れる人がいるのかどうか。また、難病についての研修も強化してほしい。

→相談があったとき、相談を受ける職員一人が全てに答えることはなかなか難しいところではあるが、適切な相談先へつなぐコーディネートは必要と考えているので、今後どのような対応を図るか検討していく。

○ その他

（主な意見）

（1）新型コロナウイルス感染症により、障がい特性で困難を要したことについて

- ・通所している方の中には、通所できることが生活の充実に繋がっている方もおり、それが今回のコロナの影響で当事者が一日中家にいることになり、大変だという話を聞いている。
- ・視覚障がい者にとって、傍に近づいてはいけないとか、あまり人と接触してはいけないということが一番困る。

濃厚接触のことについてももう少し考えて頂けたらありがたい。

- ・精神障がいの人がやるべきことは、かえってコロナ対策にとって良くないという相反関係にあり、どうにかして両立する方法を見出さないといけないが、現時点で誰も両立する術を心得ていないので、早めに見出して広く周知する必要がある。
- ・コロナ対策について、親が感染して子が陰性だったとしても、預かってもらう場所がなく、子が一人で家にいることもできない。そういう人のための緊急避難所のような施設を早急に作って頂きたい。

エッセンシャルワーカーと言われている保育や介護等に従事する職員のPCR検査を定期的にして頂きたい。

- ・福祉園民営化について、今までは入所者を区が選んでいたが、民営化されたら民間の事業者が選ぶことになり、重度でリスクの高い方が入所できなくなる可能性を心配している。

第6期の計画の中には、医療的ケアを必要とする児童や、行動障がいのある人も入れるような重度のグループホームも作るという計画を入れて頂かないと、民営化は難しいのではないかと思います。